

科目名 「 歯科予防処置論Ⅲ 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	門脇 明美
科目ナンバリング	C-8-⑦-I-17	
単位数	2	
学修目標 (GIO)	歯周病予防処置法、う蝕予防処置法において、歯科衛生士業務の予防処置を行うための知識、技能、態度を修得する。	
担当教員	*門脇 明美, *和田 由紀子 *岡元 明菜, *中澤 広美, *鷹巣 美香, *石橋 肇, *齋藤 真規	
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) プリント配布	
参考図書	新歯科衛生士教本「歯科予防処置」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株)	
評価方法 (E V)	実習評価：30% (実技評価20%・課題提出10%)，定期試験：70%で総合的に判断する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし、歯科衛生士業務の一つである歯科予防処置論について説明する。後期から臨床実習を控えているため、各自手技の訓練と毎回の実習の振り返りを行い、次の実習へと臨み、実際の患者診療の総仕上げに向けての技術を修得してください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/7	小窩裂溝填塞法 フッ化ジアンミン銀 取り扱い ・ グレーシースケーラーのシャープニング	<p>【授業の一般目標】 小窩裂溝填塞法, フッ化ジアンミン銀, グレーシースケーラーの取り扱いができるようになるために知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴, 有効性を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞法を実施できる。 3. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを理解する。 4. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを修得する。 5. グレーシースケーラーの特徴を理解し, シャープニングを行うことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分, 予習内容： 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 V編1章③、「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」 II、5章、6章を読み、術式を確認しておくこと。シクルスケーラーのシャープニング方法を確認すること。 復習時間：60分, 復習内容： グレーシースケーラーのシャープニングを確認しておくこと。小窩裂溝填塞法, フッ化ジアンミン銀について振り返り, 実習記録用紙に記載すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣

<p>第2回 4/14 第4回 4/28</p>	<p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 上顎 ・ マネキン操作</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮し適切なキュレットスケーラー操作ができる。 2. 患者に配慮し、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容： キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙を記載し、マネキンでキュレットスケーラー操作の確認をすること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第3回 4/21</p>	<p>超音波スケーラー エアスケーラー 歯面清掃器 ・ 歯科予防処置時に 起こり得る不快事 項</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面清掃器の操作ができるようになるために、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。 2. 超音波スケーラーの使用方を説明できる。 3. エアスケーラーの種類と特徴を説明できる。 4. 歯面清掃器の目的、特徴を説明できる。 5. 歯面清掃器の使用方を説明できる。 6. 不快事項に対する適切な対処方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章①、②を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容： 超音波スケーラー、エアスケーラーについて確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第5回 5/12 第6回 5/19</p>	<p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 下顎 ・ マネキン操作</p>	<p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮し適切なキュレットスケーラー操作ができる。 2. 患者に配慮し、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容： キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙を記載し、マネキンでキュレットスケーラー操作の確認をすること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>

<p>第7回 5/27</p>	<p>根分岐部における キュレット スケーラー操作</p>	<p>【授業の一般目標】 根分岐部に対するスケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 根分岐部の検査方法を説明できる。 2. 診査の結果を説明できる。 3. 根分岐部のスケーラー操作を説明できる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容：キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキンにて操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 中澤 * 鷹巣</p>
<p>第8回 6/2</p>	<p>超音波 スケーラー エアスケーラー 基礎実習</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 超音波スケーラーの使用方が説明できる。 2. エアスケーラーの使用方法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容 第3回講義時の配布プリント、超音波スケーラー、エアスケーラー使用方法を確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 次回の相互実習に向けて、超音波スケーラーの使用方法を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 中澤 * 鷹巣</p>
<p>第9回 6/9 第10回 6/16</p>	<p>相互実習 超音波スケーラー エアスケーラー ・ マネキン実習</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内での超音波スケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し超音波スケーラー操作を適確に行うことができる。 患者：患者の立場を理解し術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮しアシスタントワークを行う。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 第5、6回の講義、実習内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 超音波スケーラーの使用方法を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 中澤 * 鷹巣</p>
<p>第11回 6/23 第12回 6/30 第13回 7/7 第14回 7/14</p>	<p>患者予備実習 (父兄参加型実習)</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮した操作を行うことができる。 2. 口腔内観察を実施することができる。 3. 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 患者：術者を評価するとともに、患者体験を通じて術者として活かすことができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキンにてスケーラー操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>* 門脇 * 和田 * 岡元 * 中澤 * 鷹巣 * 石橋 * 齋藤</p>

<p>第15回 7/21</p>	<p>スケーリング 実技試験</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し安全な操作を行うことができる。 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、臨床実習に向け各自練習に励むこと。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
----------------------	------------------------	---	------------------------------------